



9次策確立をめざす決起集会(2月3日)



## 許すな炭鉱つぶし

### 中央行動で石炭各社と交渉

第九次石炭政策(今後の石炭政策の在り方)を審議する石鉱審はすでに各論の論議に入っていますが、六月の答申を控え国内炭の縮小は必要と見られるきびしい情勢の中で、労は中央行動など踏まえて総力をあげたたかいに取り組む」としています。

一月二十三日から一日間の中央行動は、第一回の政策部会での石炭協会会長の「石炭だけではやつていけない。多角化じつ適正水準へ移行する」という発言が、石炭業界自らが「縮小」を示唆したものとして重視。石炭各社と石炭協会に対する交渉を中心にして実施されました。

石炭各社と協会は、ある程度踏み込んで解明に応じたものの発言を撤回するまでは至らず、なお今後追及していく上で二十五日のストライキは延期されました。(具体的な経過は二面の中央行動記を参照のこと)

### 政策確立こそ

通産省案では「均衡点まで縮小」「輸入割当制度は廃止」「需給当量を持つとすれば、政策の行き先は明白です。炭鉱つぶしを許さないたかうこそ今重要です。」と市民決起集会を

でもこのような状況に直面したのである。石炭業界自身が縮小の姿勢を持つとすれば、政策の行き先は明白です。炭鉱つぶしを許さないたかうこそ今重要です。

## 労協福利要求実現へ全力

八次策にも明示されている労働条件向上のために労働協約、福利の強行によって労働諸条件は低下。厚生などの諸要求闘争は、二月十二日に要求書を提出、二十六日から中央交渉が始まります。三年連続の合理化以前から交渉の諸条件の向上は切実な願いです。特別賞賛予算の増額など。なお、要求案の骨子は、労働協約・労別に山元交渉事項もあります。

発行所  
三池炭鉱労働組合  
大牟田市入船町1番地  
電話(53)3033~4  
編集行人 田口芳博  
半年間1,800円 送料共  
振替口座番号  
労働金庫大牟田支店  
825-0000569

三池不当解雇  
第十三回公判

日時 3月6日(月)13時10分  
場所 福岡地裁三〇一法廷  
※ 10時33分 西鉄電車発

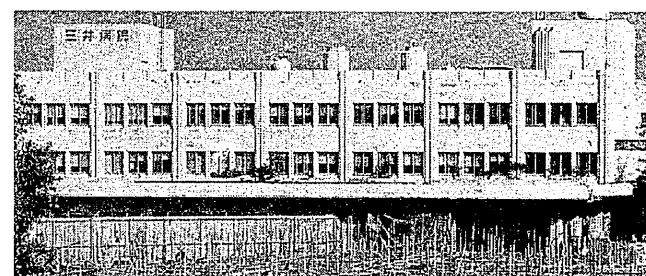
※ 原告側大里証人の尋問

### 8次策中の人員推移

当初従業員数	昭和62年3月末
20,625人	平成2年11月末
12,765人	平成2年10月末
8,305人	
求職申込み者数	平成2年11月末
12,163人	同上
再就職者数	
9,664人	

注 求職申込み者数は公共職業安定所扱い

## 三池病院を鉱山社へ 場当たり的な経営姿勢 問題多い提案、要求出し交渉



手前が工事部分

脱皮して、高度医療・地域医療をめざす来年四月からの新体制発足に合わせ、経営危機に直面している鉱業所から離脱して基盤を強めたいとしています。

提案内容は、①中・長期的な経営姿勢に問題がある。②一貫して会社都合優先、労働者と地域住民犠牲強要が続いている。③三井鉱山への移籍によって身分取り扱い上の不利益がある。④石炭鉱業年の資格喪失や有給休暇切り捨て。⑤薬師免職の廃止。などの重要な問題があります。

三池労組では、①移管については再検討せよ。②鉱業年金分の補償。③賃金、期末手当、福利厚生など労働諸条件は現行を最低とするべきである。④人員増で労働密度の軽減。などを要求し、二月から分離・独立させ、三井鉱山社提案の主旨は、事業所病院から下旬に中央交渉が開かれます。

自治と平和憲法を守り、住民本位の政治に転換するかがつかであり、第九次石炭政策に大きな影響を与えることも必至です。政治の変革をめざす立場から、公認推薦候補を決定、全力をあげて取り組みます。

(追加・再録)

◎ 奥田 八一(現・推薦)

(大牟田市・高田町区定数四人)  
◎ 福岡県議選挙

長谷川為美(現・推薦)  
(定数三十六人)

大橋 武彦(現・推薦)  
(定数荒尾区二人)

島 フミエ(現・推薦)  
(定数三十八人)

熊本県議選挙  
酒井 善為(現・推薦)

荒尾市議選挙  
(定数三十八人)

蒲池 哲夫(現・推薦)  
田中 浩治(新・推薦)

坂本 敏雄(現・推薦)  
桃島 博明(現・推薦)

前川 哲也(現・公認)  
岩中 伸司(新・推薦)

## 統一地方選挙、公認・推薦候補

- ◎ 玉名郡岱明町議選挙  
手島 賢一(現・推薦)
- ◎ 三池郡高田町議選挙  
近藤 新一(現・推薦)

統一戦争の時、戦、中央と和平を

奥田知事と県政を語る夕べ

とき 二月二十七日(水)午後五時三十分  
ところ 大牟田文化会館大ホール

\* 多数の参加をお願い致します。

ヤマの存続、保安確保から  
一一月二十五日まで保安点検月間

二月八日、三池の三労働組合の代表は大牟田再開発市民会議会長の大牟田市長に対し「現存炭鉱の維持、存続のために自治体と一緒にした運動の一環として決起集会」と要請しました。

石鉱審で第九次石炭政策が審議され、石炭産業をとりまく情勢は依然としてきびしいものがありましたが、どんな状況下にあってもればなりません。炭労は、二月十二日から二十五日まで第二十回保安点検月間として金山で取り組みます。三池炭鉱では、死災害の発生、の一掃をめざし改善させましょう。

重要・重大災害の予防対策をは

じめ、落盤・倒壁崩壊、取り扱い器材、運搬災害などの頻発災害対

策、さらに点検による不安箇所

して金山で取り組みます。

予算の増額、②住宅近代化資金、

特別賞賛予算の増額など。なお、

別に山元交渉事項もあります。